

地トシテ整理費ヲ支出シタル事、宅地租ヲ支拂ハサルベ  
カラザル事ヲ理由トシ従来一反前後ノ小作料ヲ坪二  
十、乃至三十、乃至四十、乃至五十、乃至六十ノ要求  
ヲナス事アリ。

(七) 以上現行法ノ解釈論ヨリ区劃整理ニ當リ作離料損害賠  
償請求權立毛補償換地耕作權有益費請求權小作料等ニ  
付論シタルモ將來区劃整理法等ヲ立法スル場合ニハ是  
等ノ權利ヲ主法上公認シ且ツ小作人ヲシテ是等ノ權利  
ヲ主張セシムル機會ヲ與フル爲ニ耕地整理法條ニ條ノ  
關係人中ニ小作人ヲモ包含セシメ小作人ヲシテ事業ニ  
參劃セシムル道ヲ開ク必要アリト思考ス。特ニ本縣小倉  
市、戸畑市、若松市等宅地造成ヲ目的トシ整理(地盤)工事ヲ  
行フ、区劃整理ニ於テハ關係耕地ヲ全部宅地化シ關係小

作人ヲ全部失業状態ニ陥入ラシムルモノニシテトモス  
レハ農民運動深刻ナラントスル今日、区劃整理立法ニ  
當リテハカ、ル小作人救済ノ要アリト思考ス。